



第6回NPO法人V.O.V会報

一昨年まで年末に発行していましたが、平成15年にNPO法人となったことに関連して、今期より会計や事業の期末処理が終了したのち発行することになりました。「年始に会報が届かないがどうしたのか?」「発行時期をずらしたことの連絡がない」などお叱りの言葉をいただきました。反省しているとともに活動に関心を持っていただけていることに深く感謝しています。

第5回会報までは途中経過をお知らせしていましたが今回から会計や活動報告は和歌山県に提出するものと同じ内容をお知らせすることができるようになりました。

平成17年度の主な活動



■6月18日：講演会開催
いま動物福祉を考える
[講師：青木純二氏]
中央コミュニティセンター3階

■5月15日：総会
中央コミュニティセンター
■4月13日：ミーティング
中央コミュニティセンター



■6月15日～27日
写真展 青い地球は誰のもの
古座川町公民館

■10月29日：譲渡会開催
和歌山県立体育館
労働者福祉協議会主催「第26回
労働者福祉まつり」の会場をお借りして譲渡会を開催しました。



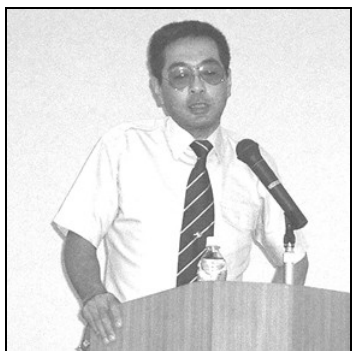
■10月15日：ミーティング
中央コミュニティセンター
■7月30日：譲渡会開催
カフェ・ラ・ファミーユ
■7月19日：ミーティング
中央コミュニティセンター

■11月23日：渡会開催
片男波公園芝生広場
毎年行なわれている「DOG STOCK2005 犬と一緒に in 片男波」の会場をお借りして譲渡会を行ないました。
■11月12日：ミーティング
和歌山中央コミュニティセンター

■12月17日：譲渡会開催
カフェ・ラ・ファミーユ
■12月10日：懇親会（忘年会）
ダンケ（和歌山市アロチ）



生き物を飼う という事



現在、昆虫、小鳥、両生類、は虫類、哺乳類と多くの動物が“ペット”という位置づけで飼われています。どうしてペット動物を飼育するのでしょうか。このすべての根元となる人間の欲求を理解しないと動物の福祉は考えられないと思います。

飼う、という字は「食を司る」と書きます。すなわち餌を与えるのが、飼う事です。動物が好きな人達は自分の目に付く動物に餌を与えて「可愛がった、動物の為に良い事をした」という自己満足にひたっているのが現状なのです。

なぜ、餌を与えて満足するのでしょうか。それは一時的でも動物が喜び、親愛の情を示す、そして、その背景にある人間の寂しさを慰めるように、自分の優位性を示せるからだだと思います。しかし“飼う”事と専門家が考える“飼育管理”は違います。飼育管理とは、餌を与えるだけではなく、その動物が生きていく環境、健康状態の維持などすべて網羅して考える事なのです。展示動物や実験動物でも、そこには感情よりもシビアな「この動物を守る」意識が働いています。

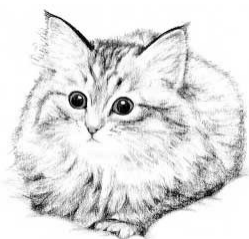
私の専門はイヌ科動物の行動心理学ですが、飼う、という意識よりも「管理して守る」という意識で飼育した方が犬は安心するのです。動物を飼育する時に大切な事は、その動物がどういう動物か、すなわちその動物の原種が野生動物であった頃に、どのような暮らしをしているか、という事を学ぶ事なのです。それはどの様に食べ物を獲得して食べていたのか、いつ寝ていつ起きて行動するのか、群で暮らすのか単独で暮らすのか、などを知る事が大切なのです。これを知る事により飼育する動物を理解し、ムリのない飼育が出来るのです。

いろいろなところで書いていますが、チワワもダックスもドーベルマンもシェパードも“イヌ”なのです。どの様な動物でも、品種を飼うのではなく、その原種である動物を飼育管理するという意識もってもらいたいと思います。生き物との関わり方について、インドの指導者故マハトマ・ガンジーは…「その国の偉大さと倫理観の発達のほどは、動物をどのように扱っているか、という点で判断することが出来る…」と残しています。私達はどうかのでしょうか。」

貴志川ドッグスクール

訓練士 青木純二

寄付のお願い



V.O.Vの活動は会員の会費と寄付によって運営されています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

振込先

郵便局 記号番号：00900-1-55631 加入者名：V.O.V

または

紀陽銀行本店営業部 口座番号：1352087 口座名：NPO 法人

譲渡した数

■17年度譲渡実績

犬 15 匹

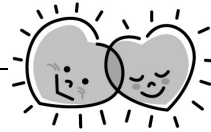
猫 14 匹



■譲渡実績総数

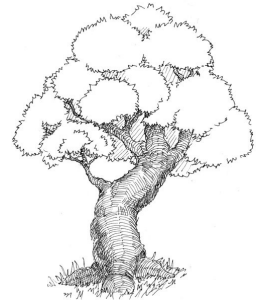
保健所から保護した犬を譲渡した数	146 匹
保健所から保護した猫を譲渡した数	3 匹
VOV 会員が保護した犬を譲渡した数	59 匹
VOV 会員が保護した猫を譲渡した数	47 匹
他団体が保護した犬を譲渡した数	7 匹
集計前に譲渡した数	14 匹
合計	276 匹

4 月末現在シェルティ MIX(メス 5 歳)、保健所から保護した猫(メス 1 歳)や犬(メス約 2 歳)などの譲渡先を探しています。また事情により飼えなくなった方の犬(オス 3 歳)、飼育放棄の犬(約 4 歳)など譲渡先探しのお手伝いもしています。



保護した数

平成 18 年 3 月 10 日シェルティ MIX 6 匹
 平成 17 年 11 月 30 日和歌山市保健所より犬 5 匹保護
 平成 17 年 7 月 6 日和歌山市保健所より犬 5 匹保護
 平成 17 年 7 月 6 日和歌山市保健所より猫 3 匹保護
 その他個々の会員が猫を保護し譲渡先を探しています。



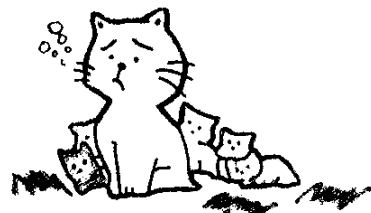
和歌山の状況

和歌山市保健所 (平成 17 年度実績)

	犬	猫
怪我・病気の為収容	13 頭	35 頭
捕獲	209 頭	—
持込	70 頭	697 頭
譲渡	23 頭	3 頭
飼主判明返還	31 頭	—
処分(処分前死亡含む)	238 頭	729 頭

和歌山県愛護センター (平成 16 年度実績)

	犬	猫
捕獲	910 頭	—
持込	752 頭	2,937 頭
処分	1,414 頭	3,017 頭



収支計算書（単位：円）

平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日

経常収入の部	
1.会費収入	154,000
2.寄付収入	383,159
3.その他収入	113
経常収入合計	537,272
経常支出の部	
1.事業費	
1.動物愛護の普及事業	
譲渡会と里親探し	42,000
2.環境と動物に関する事業	
犬猫保護	447,410
不妊助成	90,000
3.飼育管理指導と啓発事業	
ホームページ運営	5,040
しつけ教室	32,960
2.管理費	
支払手数料	3,805
通信費	7,850
経常支出合計	629,065
当期収支差額	△91,793
前期繰越収支差額	951,699
次期繰越収支差額	859,906



「里親探し」という言葉は犬や猫などの譲渡先を探すことを目的にする使い方が一般的になっていますが、本来里親制度は児童福祉法に基づく、家庭環境に恵まれない子供を擁護する制度で「里親」という言葉は子供を預かった人をさします。ところが最近では行き場を失った犬や猫の新しい飼い主にも当たり前のように使われるようになり、その為本来の人の子を養育している親（里親）や子供（里子）にとっては動物扱いされているような印象を受け、心を傷つける結果となっているようです。

このような方々や里親団体に配慮し NPO 法人 V.O.V では極力「里親」という言葉を使用しないよう努めています。

犬にガブッと噛まれたら

日本では 1957 年以降狂犬病は発生していないので不用意に心配することはありません。ただ犬の口の中はいろいろな雑菌がいますから傷口を洗浄消毒して医師の診断を受けた方が良いかもしれません。

狂犬病は今日でも海外の多くの国で発生しており発病すれば致死率が 100% になる恐ろしい病気です。日本に侵入してきたときに備えて飼い犬には年 1 回の狂犬病予防注射を受けさせましょう。



NPO 法人 V.O.V Voice of the voiceless (声なきものたちの声)

ホームページアドレス <http://vov.pekori.to/>

[発行/平成 18 年 5 月]